

共用品推進機構だより 2015年07月31日(16)

目次

(66) 共用品推進機構関連記事

▽『『テレビの声』を字幕で確認／星川安之』

(67) 各種催しとお知らせ

▽「シンポジウム『UD プラス in はままつ 2015』参加者募集のお知らせ」

(68) 製品関連記事

▽「キャノン MJ、液晶やキーを大きく」

▽「軽量で開け閉めしやすい／文化シャッター」

(69) サービス関連記事

▽「音声で操作が可能に／マイクロソフト」

(70) その他、各種関連記事

▽「ロボットで高齢者見守り／NTT データ」

(71) 新刊紹介

▽『パパ・ヴァイト ナチスに立ち向かった盲目の人』

▽『自閉症の僕の七転び八起き』

▽『特別支援学校の校長先生スピーチ集

といかける、わかちあう、つながる。』

▽『特別支援教育とキャリア支援』

▽『特別支援教育史・人物事典 復刻』

(66) 共用品推進機構関連記事

▼ 『『テレビの声』を字幕で確認／星川安之』

多くの人は、60歳を過ぎるあたりから、高い音が聞きづらくなってきます。女性より、男性の声が聞きやすくなるのもそのためです。

日本は、他の国より一足先に高齢者の比率がもっとも高い国になっています。そのため、さまざまな商品は、今や高齢者のニーズにあっていないと、大量の消費には結びつかないという状況にまでなっています。

15年程前、初めてアメリカに行き、ホテルでテレビを見ていると、早口の英語でアナウンサーが実況中継していました。ふと画面の下を見ると、私でも理解できるスピードで、アナウンサーが話している言葉が字幕になって流れています。

この字幕は、耳の不自由な人ばかりではなく、英語を母語としない人や、高齢になり、少し耳が遠くなった人にも、とても便利な仕組みです。

日本でも地デジに放送の仕組みが変わり、リモコンの「字幕」のボタンを押すと画面で話している声が、そのまま文章になって同じ画面に出てきます。

徐々に多くの番組に付くようになっており、最近ではコマーシャルにも付くようになってきました。

テレビの声が聞きづらいと思われたらどうか、リモコンにある「字幕」ボタンを押してみてください。

(エルダリープレスーシニアライフ版ー 2015年7月号25面より抜粋)

(67) 各種催しとお知らせ

▼ 「シンポジウム『UD プラス in はままつ 2015』参加者募集のお知らせ」

誰もが便利に、分かりやすく、快適に移動できてコミュニケーションが取れるようなツールや取組について紹介し、ユニバーサルデザインの今後の可能性を探るシンポジウムを開催します。

テーマ「外出を楽しむ、移動とコミュニケーションのUD支援」

【日時】平成27年8月21日(金曜日)13:30~16:00

【場所】 浜松市地域情報センター・ホール（浜松市中区中央 1-12-7）

【内容】

(1) セッション1：「楽しくスマートな移動のUDイノベーション」

講師：WHILL（ウィル）株式会社 CEO 杉江理氏

- ・“全ての人の移動を楽しくスマートに”を目的に、次世代パーソナルモビリティの開発をしているWHILL。走破性、デザイン性にも優れたまったく新しいモビリティ「WHILL」が開く新しい世界を開発者が語ります。

(2) セッション2

講師：

NPO 法人メディア・アクセス・サポートセンター事務局長 川野浩二氏

シャムロック・レコード株式会社代表取締役 青木秀仁氏

静岡福祉大学非常勤講師 森直之氏

- ・音声のテキスト化による新しいコミュニケーションの創造、字幕と音声ガイドによる映像の感動の共有などの事例について、映像をまじえて解説します。

(3) アフタートーク

○コーディネーター

谷川 憲司 氏（静岡文化芸術大学デザイン学部・教授）

○その他出演者

セッション1・2の講師

- ・ユニバーサルデザインの新しい可能性について議論します。

募集定員：150人

参加費：無料

情報保障等：手話通訳あり、音声をテキスト化するアプリケーション

「UDトーク」のデモンストレーションあり

- ・会場内でサポートが必要な方は、事前に御連絡ください。

申込期限：平成27年8月12日（水曜日）

※先進のユニバーサルデザインの製品などを展示・体験できる展示・体験会を8月22日（土曜日）に浜松市ギャラリーモール「ソラモ」（遠鉄百貨店横）で行います。ぜひご来場ください！

※詳しい内容はこちら

<http://www.pref.shizuoka.jp/ud/udplus/oshirase.html>

参加申込はこちら

<https://www.shinsei.elg-front.jp/shizuoka/uketsuke/dform.do?id=1435131540792>

(68) 製品関連記事

▼「キヤノン MJ、液晶やキーを大きく」

キヤノンマーケティングジャパン (MJ) は、高齢者でも使いやすい大きな液晶やキーが特長の電卓「HF-1000T」を発売する。高齢者にとっての見やすさ、打ちやすさ、使いやすさを重視した。液晶にくっきりと数字が表示され、キーも大きくたたきやすい。高齢者が使いやすいよう機能を絞り、平方根の計算式などは省いた。一方で税率の計算機能は残し、消費税率の設定が簡単にできるようにしている。

(日経産業新聞 7月27日12面より抜粋)

▼「軽量で開け閉めしやすい／文化シャッター」

屋外専用の鋼製軽量引き戸「カームスライダ―屋外タイプ」。公衆トイレなどの開口部商品として提案。床面にレールが無いバリアフリータイプ。軽量なので軽い力で開閉でき、乳幼児連れでもスムーズに入室できる。屋外での使用に配慮し、錠前とハンドルから浸入した雨水の排水機構を設けた。

(日経MJ 7月29日12面より抜粋)

(69) サービス関連記事

▼「音声で操作が可能に／マイクロソフト」

米マイクロソフト (MS) は29日、新しい基本ソフト (OS) 「ウィンドウズ10」の提供を始める。大きなバージョンアップをして新OSへの買い替えを促してきたMSにとって、既存のOSからのアップグレードを無償で提供する初めての試みとなる。

注目機能の1つである音声で操作可能な個人秘書機能「コルタナ」は、日本語版を年内にプレビュー版に追加する予定という。プレビュー版で動作を検証した後、一般利用者に提供していく方針だ。

(日経産業新聞 7月29日7面より抜粋)

(70) その他、各種関連記事

▼「ロボットで高齢者見守り／NTT データ」

NTT データは28日、NTT やロボットメーカーのヴイストンと共同で、ロボットとテレビや照明などの家電をつないで高齢者の行動を把握し、相談に乗ったり介護者に連絡したりする「見守りサービス」の実証実験を始めると発表した。

実験ではヴイストンの開発した身長約30cmの人型ロボット「Sota(ソータ)」と人の動きなどを把握するセンサーを、介護施設や高齢者の住宅などに配置する。

ロボットとセンサー、照明やエアコン、血圧計などの生活家電をインターネットに接続し、ロボットが高齢者と会話して本人の体調や要望を聞き取り、サーバーに送る。

サーバーで言語認識技術などを使って解析し、センサーの情報と合わせて、利用者の状況を把握。要望に応じて室内の温度や明るさを調節したり、ロボットが血圧計などのデータに基づいて体調管理のアドバイスをしたりする。必要に応じて、介護者にも連絡する。

(日経産業新聞 7月29日8面より抜粋)

(71) 新刊紹介

▼『パパ・ヴァイト ナチスに立ち向かった盲目の人』

第二次世界大戦中のさなか、ドイツ・ベルリンにおいて盲人作業所で働くユダヤ人を、自らの命をかけて守った盲人のドイツ人オットー・ヴァイト。多くのユダヤ人に「パパ・ヴァイト」と慕われた彼に、命を救われた著者イ

ング・ドイチュクロンが史実と体験をもとにかきあげた絵本。

作：インゲ・ドイチュクロン

絵：ルーカス・リュージェンベルク

訳：藤村美織（ふじむら・みおり）

発行：汐文社

本体価格：1600 円（税別）

ISBN：978-4-8113-2226-1

▼『自閉症の僕の七転び八起き』

重度の自閉症者ながら文字盤やパソコンを使って言葉を発し続けてきた著者が、「自閉症」という障害への思い、会話ができないからこそ見えてくる日常の様々な気づきについて綴る。オフィシャルブログを再編集。

著：東田直樹（ひがしだ・なおき）

発行：KADOKAWA

本体価格：1300 円（税別）

ISBN：978-4-04-653346-3

▼『特別支援学校の校長先生スピーチ集

といかける、わかちあう、つながる。』

特別支援学校の校長在任中に行った、児童生徒、保護者、教職員に対しての短い講話や入学式、卒業式などでの式辞、他校の先生に向けての挨拶などを収録したスピーチ集。「学校だより」の中の挨拶文も掲載する。

著：渡辺明広（わたなべ・あきひろ）

発行：ジアース教育新社

本体価格：2500 円（税別）

ISBN：978-4-86371-293-5

▼『特別支援教育とキャリア支援』

玉木学園長崎玉成高等学校における特別支援教育の取り組みの実践結果をまとめる。具体的な教育課程や学級編成の特色、教育指導方法などについて、各担当者が詳細に記述する。特別支援教育Q&Aも収録。

編：玉木学園長崎玉成高等学校

発行：同成社

本体価格：1900 円（税別）

ISBN：978-4-88621-694-6

▼『特別支援教育史・人物事典 復刻』

特別支援教育史をよりよく理解するために、近代社会以前から 1900 年代まで、日本と世界の各時代を代表する人物を紹介。また、時代区分ごとに、それぞれの時期の特徴などを記述する。

編：藤島岳（ふじしま・たかし）大井清吉（おおい・せいきち）

発行：日本図書センター

本体価格：18000 円（税別）

ISBN：978-4-284-30766-6

（編集後記）

ISO（国際標準化機構）に国際規格として提案しているトイレ操作部の配置に関する国際規格「公共トイレにおける便房内操作部の形状、色、配置及び器具の配置」の DIS 投票（国際規格案投票）が 7 月 12 日に終了しました。賛成が 3 票、反対が 1 票、棄権が 8 票で、国際規格原案として承認されました。この投票で各国から提出されたコメント（規格案に対する意見）にどう対応するかを国内委員会で検討した結果、次の段階として、FDIS 投票（最終国際規格案投票）を省略して、直接国際規格発行に進むための CD 投票（委員会投票）を行うことになりました。また、「トイレ操作部の配置」と同時に提案していた「公共空間の音案内」も DIS 投票（国際規格案投票）が 7 月 15 日に終了し、賛成 6 票、棄権 8 票で承認され、FDIS 投票（最終国際規格案投票）を省略するための CD 投票（委員会投票）が開始されています。（松岡 光一）

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース（ブログ） <http://www.kyoyohin-news.org/>